

# 非接触・非集合型（リモート）研修開催方法一覧：2020年6月現在

## 1. 本格ライブ中継

スタジオからのライブ配信双方向授業



映像音声  
ストレスなし

フルHD録画  
バックアップ

集合研修と  
ほぼ遜色なし

◇概要：セミナースタジオからのライブ配信とウェブ会議システムを組み合わせ、本格的な双方向の授業を実施する方式。

- ◇制約：①受講者全員が2つ以上のデバイスを持ち、うち1台が画面サイズ10インチ（できれば12インチ）以上であること。（例：ノートPC+タブレット/スマホ）  
②受講者全員のすべてのデバイスが安定したインターネットにつながっていること。③受講者は（ハウリング防止のため）音声受信はイヤホンをご用意ください。  
④全員が同じウェブ会議システムを利用し、またその操作に慣れていること（当社ではteams/またはzoomいずれかに対応します。）  
⑤teams利用の場合チーム数は最大4かつ1チーム人数最大8名までとなります。zoomの場合はチーム数や人数に制限がありません。⑥配信リハーサル必須です。

## 2. 事前録画講義利用

## 3. ELプログラム利用

LMSを用いたEラーニング受講  Leaf

映像音声  
ストレスなし

高い完成度

受講時間、  
回数が自由

◇概要：「2. 録画講義」は当該講座専用に事前収録された映像視聴とデジタルand/orアナログ教材によるEラーニング受講です。

「3. ELプログラム」は、当社でEラーニング専用に開発されたプログラム（映像+ダウンロード式教材）の受講です。

- ◇制約：①2、3いずれの場合も、当社指定LMS（Learning Management System≒EL受講プラットフォーム）の利用が必要です。マルチデバイス対応です。  
②安定したインターネット（4Gでも可）につながったデバイスが1台あれば受講可能です。③教材は希望により冊子製本したものをお届けできます。（実費発生）

## 4. teams / zoomのみ

ウェブ会議システムによる双方向授業



◇概要：ウェブ会議システム利用だけで、双方向の授業を実施する方式。

- ◇制約：①グループワークを含む研修の場合は、利用システムによってデバイス使用方法を変えます。  
zoom：1台でOK。 teams：2台使用を推奨します。（例：ノートPC+タブレット/スマホ）  
②研修開催時間、常時安定したインターネット回線に全員つながっていること（4G不可）。

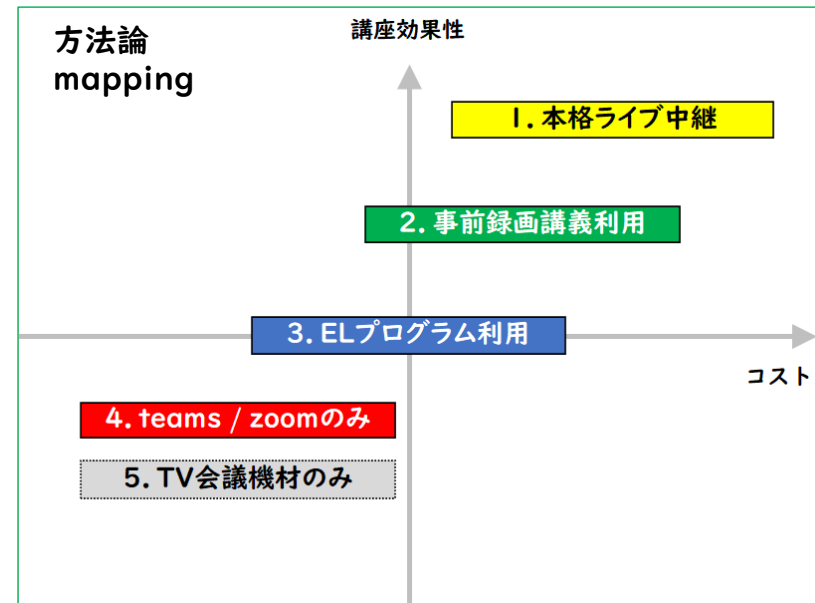
## 5. TV会議機材のみ

社内TV会議システムによる双方向授業



◇概要：社内TV会議システムだけで、双方向の授業を実施する方式。

- ◇制約：①この方法論の採用可否、集合できる人数、時間は社会状況に応じて調整する必要があります。  
②2020年6月現在、1つの会議室に1名あたり6平米以上の面積確保/常時換気が可能なこと/  
全員が終始マスク着用すること/飲食を伴わないこと/（可能なら）アクリル板などで仕切ることを条件にお引き受けしております。③講師には専用の1部屋が必要です。



各教育の特性に応じ、方法論を組み合わせることで、効果的な研修開催が可能になります。詳細はお問い合わせください、ウェブ会議等で御社に最適な組み合わせをすぐに設計します。